

小説の神様・志賀直哉先生と桂馬蒲鉾のご縁

文学の館 志賀直哉旧居



初代・村上桂造が桂馬蒲鉾を創業した大正二年の前年、大正元年に一人の青年が尾道千光寺山腹で一人暮らしを始めます。後に小説の神様と呼ばれる志賀直哉先生です。そして、慣れない自炊に苦勞する先生を甲斐甲斐しくお世話したのが、小説「暗夜行路」に登場する隣のお婆さんこと桂造の祖母「小林マツ」でした。

その出会いから始まる先生と桂馬蒲鉾のご縁。戦後、渋谷常盤松に移居された先生の元へ、桂造自ら蒲鉾包みを両手にたずさえお届けにまいります。旧懐の味にお喜びの先生からはお手紙や写真・書籍を頂戴し、長くご縁を紡ぎました。

志賀先生と初代の祖母に始まる桂馬蒲鉾のご縁結び、以来現在もお客様との出会い・ご縁を感謝の気持ちで紡ぎ、伝統の蒲鉾づくりに励んでおります。



桂馬のお好み詰合「尾道ごあいさつ」

蒲鉾は、海からの恵み、
高たんぱくで低カロリーの先人の知恵、
日本の伝統食品です。



桂馬の蒲鉾(1本)は、まるまる三尾のグチの身とハモ・エソを使い、お魚の良質なたんぱく質でいっぱい、健康、美肌、筋力アップにも最適な食品です。四季折々、毎日の健康な食卓づくりに桂馬の蒲鉾をお楽しみいただくと幸いです。

尾道土堂
桂馬蒲鉾



ONOMICHI
KEIMA-KAMABOKO
since 1913

創業大正二年



ONOMICHI
KEIMA-KAMABOKO

尾道 桂馬蒲鉾商店

創業大正二年

尾道本店 | 広島県尾道市土堂一丁目9番3号
TEL ■ 0848-25-2490



オンラインショップ keima-kamaboko.com

福山店(さんすて福山)・尾道福屋
広島三越・日本橋三越本店「味匠庵」・銀座三越「味匠庵」

※ 各店ともに、おしなものの種類や数に限りがございます。

特製
お好み

特製
蒲鉾

尾道

特製

特製
蒲鉾

特製
お好み